

報道関係者各位

クマに対する県民への注意喚起について

春を迎え、行楽や山菜採りなどで山に入る方も増えていますが、この時期はクマが冬眠から覚めて活発に活動する時期でもあり、クマに遭遇する危険性が高まります。

今年も既に74件の目撃事例（4月19日時点）があり、例年に比べて増えております。

また、過去には、山菜採りや溪流釣りに出かけ、クマと遭遇した県民が大怪我を負う事故も発生しています。

人身被害の防止に向け、下記を参考に、県民に注意を喚起して下さるよう御協力をお願いします。

記

- **クマから見れば、森林は自分の領分。人は侵入者だということを忘れずに、周囲に十分注意してください。**
 - ・行き慣れた山でも、クマから見れば、自分の領分だということを忘れないでください。冬眠から覚めたクマは、芽吹いた山菜類などを探して動き回ります。山菜を探すのに夢中で周囲への注意が散漫になると、突然クマと遭遇することになります。
- **音の出る物で、人の存在をクマに知らせるようにしてください。**
 - ・クマも食べ物探しに夢中になり、人の接近に気がつかない場合があります。山などに出かけるときは、ラジオやクマ鈴、笛など、音の出る物を持って行きましょう。
- **子連れのクマに注意してください。**
 - ・子連れの母グマは非常に神経質で危険です。絶対に近づかないでください。子グマを見たら、近くに母グマがいると思ってください。
- **万一、クマに遭遇したら、背を向けずに、ゆっくり後退してください。**
- **生ゴミなどを放置しないでください。**
 - ・山菜採りなどで食べ残しやゴミを山に残しておくのは、クマを寄せつける大変危険な行為です。食べ物や食べ物の包み紙などのゴミは必ず持ち帰ってください。
- **市街地周辺のやぶなどは刈り払ってください。**
 - ・クマは河川敷などの緑地に隠れて移動します。市街地周辺のやぶなどは刈り払い、クマの出没を防ぎましょう。
- **県や市町村の出没・目撃情報を確認し、付近へ立ち入る際には、十分に注意し複数で行動するようにしてください。**

※詳細は別添チラシを参照ください。

参考) 山形県内におけるクマによる人身被害
令和5年 5人
令和6年 3人
令和7年 13人

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(担当) 環境エネルギー部みどり自然課
鳥獣被害対策室 室長補佐 佐藤
TEL : 023-630-3432
〔広報監〕 環境エネルギー部次長 高嶋